

原子力をめぐる
リスクコミュニケーションの諸相
～いくつかの事例から～

東京電機大学 寿楽 浩太

juraku@mail.dendai.ac.jp

2013年7月4日

科学コミュニケーション勉強会関東支部勉強会

自己紹介

- 専門は科学技術社会学、エネルギー技術社会論、工学系学生の社会リテラシー教育
 - エネルギー施設立地の社会的意思決定プロセスの研究
 - 工学系学生向け社会リテラシー教育プログラムの開発研究
- 2003.3 東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程卒業
 - 指導教員：松本三和夫先生
- 2003.4～2008.3 東京大学大学院学際情報学府修士課程・博士課程
 - 指導教員：佐倉統先生、副指導教員：松本三和夫先生
- 2011.6 博士（学際情報学）

自己紹介

- 2008.4～2012.3 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 特任助教
 - グローバルCOEプログラム「世界を先導する原子力教育研究イニシアチブ」にて「原子力社会論」教育研究に従事
 - この間、米カリフォルニア大学バークレー校客員研究員 (2010.5～2011.8)
- 2012.4～ 東京電機大学 人間科学系列 助教
 - 「失敗学」「技術者倫理」の両科目を担当

自己紹介

- 科学技術社会論学会 会員（編集委員会委員）
- 科学社会学会 会員（事務局幹事）
- 日本社会学会 会員
- 日本原子力学会 会員（社会環境部会運営委員）
- Society for Social Studies of Science (4S) Member

自己紹介

- 2013.5～ 文部科学省 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 安全・安心科学技術及び社会連携委員会 リスクコミュニケーションの推進方策に関する検討作業部会 委員
- 2013.5～ 経済産業省 総合資源エネルギー調査会 電気事業分科会 原子力部会 放射性廃棄物小委員会 委員

今日お話ししたいこと

- ✦ (自己紹介)
- ✦ 「善意」が生む「情報統制志向」
- ✦ 「統治者視点」と「当事者視点」の相克
- ✦ 「社会とのコンセンサスとしてのALARA」
- ✦ 「リスクコミュニケーション」とは何か？

「善意」が生む「情報統制志向」

(資料2参照)

「統治者視点」と「当事者視点」の相克 (資料3参照)

「社会とのコンセンサス としてのALARA」

原子力工学専門家の最近の発言から...

- リスク管理における「権限委譲」については、実はすでに原子力工学専門家からも問いかけが現れている
- 原子力学会の「学会事故調」中間報告書における山口彰氏（阪大教授）の問いかけを見てみたい

2. リスク評価と深層防護

山口 彰 (大阪大学)

なぜ継続的な安全向上が必要なのか

- * 安全目標は社会との約束事であるから
 - * 安全目標が社会に広く受け入れられ関係者に尊重されるため(中略)広く社会と対話を続けて行くことが肝要である(安全目標中間取りまとめ)
- * ALARAとはその当時の社会のコンセンサスであるから
 - * ALARPを達成するためのリスクとコントロールに係る判断は簡単ではない。何がALARPかを計算する簡明な方程式はない。
 - * ALARP Suite of Guidance,
<http://www.hse.gov.uk/risk/theory/alarp.htm>

ALARAとは何か？

合理的に達成できる限り低く？

- * Reasonableとは(辞書から)
 - * 理に適った、論理の通った、納得のいく
 - * If you think something is fair and sensible you can say that they are reasonable
 - * Reasonableは実際の場面における合理性、rationalは感情的でない高度も論理的な精神の働き
- * 説明性のあること、多くが納得して合意してくれること
 - * 女川発電所を高所に設置
- * 社会に理解いただくために継続的な安全向上が必要(ALARAとは見識と技術力)

「リスクコミュニケーション」
とは何か？

「リスクコミュニケーション」とは...

- 下記の定義（発表者私案）について、皆さんはどう思われるだろうか？

「私たちの社会にとって妥当かつ正統性のある適切なリスク管理を実現していくために、様々なリスクに関する情報を広く社会において伝達・共有しつつ、リスクに対する対処の原則や基準についての社会的な合意あるいは共通理解を見いだして市民が求める価値をリスク管理に反映し、関係するステークホルダーがそれらに基づいて具体的な対処方法を共創し、各々の責任を積極的に果たしていくこと」